

事業セグメント別戦略

What's Next

ライフサイエンス事業

表面改質技術のスピノフにより
人々のQOL※の向上に貢献

※Quality of Life：生活の質



CHIDORI®

電気メスの刃先の特定箇所に塗装することにより、炭化物付着抑制および温度上昇制御の新たな機能を付与しました。



RAIKIRI®

長時間の手術でも手が疲れにくい形状とし、手術中に保持しやすいように、すべり止め加工を行っています。

医療機器向け表面処理加工
医療機器に対して薬剤を塗布・乾燥させることにより表面にコーティングを形成。
金属、ガラス、セラミックス、樹脂など幅広い素材に適用可能です。

2018年、日本パーカライズは、従来の事業領域から離れ、ライフサイエンス事業を立ち上げました。私たちの持つ鉄鋼や自動車で育まれた技術は、新たな事業領域において、表面改質技術の「新たな価値の創造」をもたらすと考えたからです。当初は、焦げ付き防止という機能の活用から治療系医療機器製品を生み出したライフサイエンス事業ですが、現在は市場領域を拡大し、医療機器と機能性薬剤がその柱となっています。当社は、表面改質技術のリーディングカンパニーとして、ライフサイエンス事業の成長を通して新たな地平を切り拓いていきます。

医療機器分野

医療機器分野では、「人々の生活と健康に貢献する」をコンセプトに、私たちがこれまで培った表面改質技術の人々の健康維持に応用していくことを目指しています。当社が製造販売を行う単回使用（ディスポザブル）の電気メスは、NPO法人ものづくり生命文明機構と日刊工業新聞社で構成される「2020年“超”モノづくり部品大賞」において、「健康福祉・バイオ・医療機器部品賞」を受賞しました。

こんにちでは、その性能が医療従事者に高く評価され、欧米系メーカーが独占するこの市場において、すでに150を超える病院で採用されています。今後もより多くの病院に採用いただくことで、本製品カテゴリートップのシェア獲得を目指して活動していきます。また、足元では、産学連携による体内埋め込み型医療機器の開発を進めるなど、製品領域のさらなる拡大を進めています。



アブレーションカテーテル

目的：絶縁性の付与
露出した金属部を絶縁することで、患部以外に触れたときの熱損傷を抑制しています。



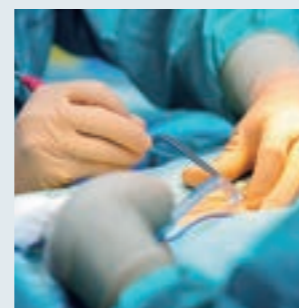
ガイドワイヤー

目的：滑り性の付与
カテーテル内の滑り性を向上し、患部へカテーテルを通すための操作性を向上しています。



電気メス(モノポーラ)

目的：焦げ付き防止
メス先端部に当社製のコーティングをすることにより、焦げ付きを防止し、拭き取り性を向上させています。



電気メス(バイポーラ)

目的：絶縁性の付与
絶縁性コーティングを実施することで、ピンセット(メス先)の金属露出部以外が患部に触れた際の熱傷を防止します。

当社では、自社で医療機器を製造販売するだけでなく、他社の製造する医療機器の表面処理加工も受託しています。たとえば、当社の扱うモノポーラ型電気メスではなく、バイポーラ型の電気メスへの表面改質をはじめ、カテーテ

ルガイドワイヤー、アブレーションカテーテルなど数多くの医療機器への表面改質を開始しました。今後は自社開発製品のみならず、他社製品への表面改質を行うことで、人々の生活と健康に貢献していきます。

機能材料分野

機能材料分野では、機能性薬剤を取り扱っており、「日々の暮らしをより快適に」をコンセプトに、医療機器と同様に、私たちがこれまで培った表面改質技術を日々の暮らしに応用していくことを目指しています。一般的な除菌剤に比べ、効果がより長く続く抗ウイルス・抗菌剤は、現在、企業向けに「パルテンコート688(TC-688)」として、一般消費者向けには「パルフィール(Pal-Feel)」として商品化し、上市し

ています。本製品は、従来の一時的な除菌作用ではなく、当社の表面改質技術を生かし2カ月持続するという特徴を持たせた製品で、現在、医療介護業界やホテルなどに対しフィールド調査を開始し、ウイルスや菌だけではなく、消臭や防カビなどへの効果も含めたデータ採取を開始しています。今後は、化粧品分野への進出を目指し、産学連携などによる商品開発を進めています。



パルフィール

目的：持続型抗ウイルス抗菌性の付与
工業分野で培った表面改質技術を応用し、素材表面に抗菌効果を長期間持続します。



化粧品業界

目的：機能性の付与
原料に表面改質技術を施し、化粧品に新たな性能を付与します。

Chemicals

薬品事業

あらゆる産業分野に向けた表面処理剤の供給と最新のノウハウ、技術サポートを提供



電子 航空/宇宙 非鉄 輸送/機器 建材 金属/加工/防錆 鉄鋼(シート)

主な事業内容

- 塗装下地
- 防錆油
- 金属防錆
- 無電解Niめっき液
- 潤滑皮膜
- その他機能性皮膜薬剤
- 圧延油

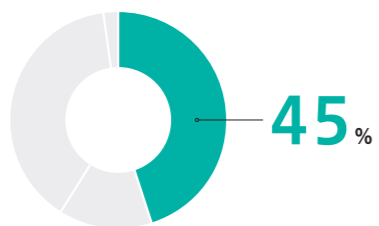
薬品事業売上高

52,911 百万円

営業利益

7,672 百万円

売上高構成比



事業概況

2022年度の業績は、売上高は529億11百万円(前期比13.5%増)となり、営業利益は76億72百万円(前期比0.2%増)となりました。

当事業部門は、あらゆる産業分野における素材の洗浄、防錆、塗装下地、潤滑、意匠などを目的として表面処理剤の製造・販売と、これに伴う最新のノウハウ、技術サポートを提供しています。

国内では主要顧客の減産などの影響により、上半期は金属表面処理剤の販売が伸び悩んだものの、下半期は緩やかな回復基調で推移しました。また、国内外での販売価格の上昇に加えて、インド、インドネシアなどアジア地域での販売回復が寄与し、薬品事業全体の売上高は増収となりました。一方、原材料価格高騰の影響が1年を通じて継続したことから収益性は低下し、営業利益は小幅な増益にとどまりました。

今後の見通し

原材料価格の高止まりは続くと見込んでいます。販売価格への転嫁、原価低減、生産性の向上などにより、適正なマージンを確保できるように取り組んでいきます。

強みとリスク

1 強み

- ・表面にさまざまな機能を付与する多彩な製品群
- ・お客さまのニーズや課題に迅速に対応できる顧客密着型のサービス体制
- ・最先端の設備を備えた研究開発体制と自社技術を生かした独自の技術開発
- ・お客さまが求める高い品質の製品を安定的に供給
- ・幅広いグローバルネットワークでお客さまの海外展開をサポート

2 リスク

- ・EV化による自動車および鉄鋼産業の構造変化
- ・製品のコモディティ化による価格競争の激化
- ・りん酸をはじめとした原料価格の上昇
- ・化学物質規制や環境規制の強化
- ・自然災害や国際紛争などによるサプライチェーンの混乱

3 対応策

- ・摺動性の向上や絶縁性の付加など、EV化を見据えた製品開発
- ・新規市場開拓
- ・研究開発の強化による高付加価値製品の開発
- ・有害物質を含まない環境対応製品の開発
- ・原料価格上昇分の製品価格への転嫁とコスト削減による適正マージンの確保
- ・カントリーリスクなどの情報収集およびBCPの整備・強化

Vision2030 実現に向けた成長戦略

表面処理剤販売の分野において、世界市場売上シェアNo.1を目指します

脱炭素社会に貢献する薬剤やクロムフリーなどの環境負荷を低減する薬剤の開発・製造・販売によって環境課題解決に貢献し、自動車・鉄鋼・電気・電子・非鉄・ライフサイエンスなどさまざまな分野で新規開拓をグローバルに推進!

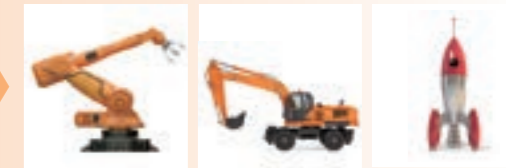
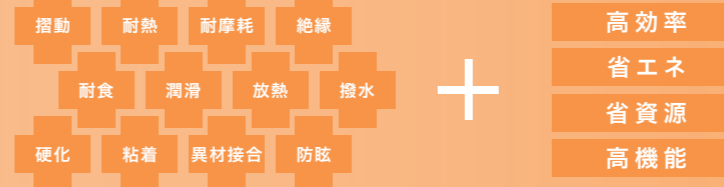
注力point

- 自動車のEV化を見据えた製品開発
 - 耐久・摺動・絶縁などによるエネルギー効率の向上や高機能化
- 新規市場開拓
 - 電気・電子・非鉄・ライフサイエンス、ほか
- 環境対応製品の拡販
 - クロムフリー・りんフリー・CO₂排出量削減・スラッジ削減・廃液処理負荷低減など
- 金属防錆以外の多様な機能性皮膜開発・製造・販売
- 海外における事業拡大

Jobbing

加工事業

環境負荷低減に貢献できる多様な機能を付与する加工サービスを提供



主な事業内容

- 化成処理
- 無電解Niめっき
- 塩浴軟窒化
- 固体潤滑
- ガス浸炭・浸炭窒化
- その他熱処理・表面処理
- ガス軟窒化

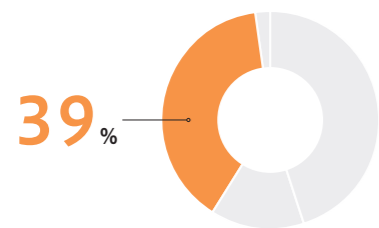
加工事業売上高

46,743 百万円

営業利益

6,086 百万円

売上高構成比



事業概況

2022年度の業績は、売上高は467億43百万円(前期比4.3%増)となり、営業利益は60億86百万円(前期比10.3%減)となりました。

当事業部門は、潤滑性・高密着性などの機能性を付与する「防錆加工」、金属の強度や耐久性を高める「熱処理加工」、素材表面に薄膜金属を被覆することで高耐食性・耐摩耗性などを付与する「めっき処理」など表面処理サービスを提供しています。

ベトナムやインドなど一部のアジア地域で比較的堅調に推移したことや、為替レートが円安に進んだことにより、加工事業全体の売上高は増収となりました。一方、国内および北米、中国、タイでは主要取引先である自動車部品メーカーの生産が低調だったため、販売が伸び悩み、原材料費・光熱費の上昇も加わって収益性が低下し、営業利益は減益となりました。

今後の見通し

世界的な物価上昇は当事業部門の収益圧迫要因となっていますが、一定程度の価格転嫁と自動化、ロボット化およびDX化などの生産性の向上を推進していきます。中でも米国では苦戦を強いられているものの、海外全体では顧客開拓の成果が徐々に出ているほか、不採算拠点の収益改善に成果が見られます。

強みとリスク

1 強み

- ・化成処理、熱処理(浸炭、窒化)、無電解めっきなど多様な技術
- ・お客さまのニーズや課題に迅速に対応できる顧客密着型のサービス体制
- ・創業から90年を越える歴史の中で培った独自の技術とノウハウ
- ・お客さまが満足する表面改質処理を迅速に提案・提供
- ・幅広いグローバルネットワークでお客さまの海外展開をサポート

2 リスク

- ・EV化による自動車部品産業の構造変化
- ・技術のコモディティ化による価格競争の激化
- ・顧客による表面改質処理の内製化および顧客の海外移転
- ・化学物質規制や環境規制の強化
- ・自然災害や国際紛争などによるサプライチェーンの混乱

3 対応策

- ・耐熱性や耐摩耗性の向上、異材接合などEV化を見据えた新技術や差別化技術の開発
- ・メガサプライヤーとの連携強化
- ・海外事業の強化、非日系顧客の開拓
- ・CO₂や有害物質の排出削減に貢献する新たな加工技術の開発
- ・カントリーリスクなどの情報収集およびBCPの整備・強化

Vision2030実現に向けた成長戦略

全世界で認知され、お客さまより最も信頼されるパートナーとなることを目指します

需要の増加が見込まれる自動車電動化(EV、HV、PHV)の主力部品をターゲットに、メガサプライヤーとの連携を強化、国内外の営業連携をさらに強化することで既存分野の掘り起こしと新規分野の開拓をグローバルに推進し、事業基盤を強化!

注力point

- 次世代自動車ニーズへの対応
- 自動車電動化(EV・HV・PHV)の主力部品の受注(摺動性、絶縁、耐摩耗など)
- その他次世代自動車技術への用途開発(防眩、放熱、異材接合など)
- 自動車以外の新規分野開拓(建機、建設、ロボット、宇宙、ほか)
- 海外主力拠点(タイ、中国、北米)の営業強化、非日系市場の開拓
- 環境負荷低減に貢献するサービスの拡充(低温処理など)
- 横展開、内製取り込みによる既存分野の掘り起こし

Equipment

装置事業

設備規模や産業分野を問わず、表面改質・塗装に必要なプラント一式をフルターンキーで提供



主な事業内容

- 前処理装置
- 電着装置
- 排水処理装置
- 塗装装置・ロボット
- 塗装ブース・空調設備
- 粉体塗装機
- コンベヤシステム
- 乾燥炉
- IoTシステム
- プレートコイル

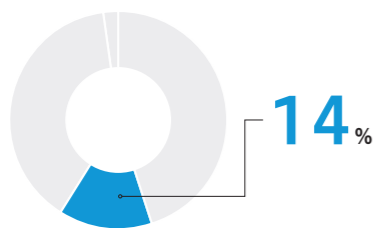
装置事業売上高

16,790 百万円

営業損失

8 百万円

売上高構成比



事業概況

2022年度の業績は、売上高は167億90百万円(前期比29.8%減)となり、営業損失は8百万円(前期は1億51百万円の営業利益)となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備、塗装設備および粉体塗装設備などを製造・販売しています。

前期は国内外で大型設備案件の施工が進捗し、業績に寄与しましたが、今期はその効果が減少したことに加え、中国ロックダウンに伴う工期の後ろ倒しや鋼材価格の高騰などの要因もあり、収益面では大幅な減収となり、営業損失のやむなきに至りました。

今後の見通し

世界的な物価高騰下において、多種多様なコスト増が収益を圧迫しているものの、十分な受注残を抱えており、回復が遅れていた中、明るい兆しも見えてきました。

特に世界の自動車市場では、中国、インドで新たな投資の増加が見込まれ、日系自動車メーカーだけでなく、現地メーカーとの関係強化も重要となっています。ベトナム、カンボジア、ミャンマーなど新興市場の市場開拓も進めていきます。

強みとリスク

1 強み

- ・あらゆる設備規模・産業分野のお客さまに対応
- ・自動車および鉄鋼産業から先端産業まで、幅広い産業分野における豊富な納入実績
- ・表面処理・塗装に関するすべてのラインの設計からアフターフォローまでに対応
- ・塗装品質のカギを握る新しい表面処理と最先端の塗装プロセスを開発・提案
- ・お客さまのグローバル戦略を確かな実績でサポート

2 リスク

- ・景気後退などに伴う設備投資需要の大幅な減少
- ・資材価格の高騰、設計や施工の手直しに伴う追加コストの発生
- ・技術開発の遅れによる受注機会の損失
- ・人身や施工物などに関わる重大な事故災害の発生

3 対応策

- ・保守点検などのアフターサービスや消耗品の販売拡大による収益の安定化
- ・設計から施工管理に至る工事原価管理の徹底
- ・海外事業展開の強化
- ・CO₂排出量低減などにつながる低環境低負荷設備の開発
- ・IoT設備管理システムを取り入れた生産性の高い設備の開発・販売
- ・事故災害ゼロ実現に向けた安全衛生管理の徹底

Vision2030実現に向けた成長戦略

総合エンジニアリングメーカーとして、
薬品事業との連携により、
自動車産業から一般産業まで、
幅広い顧客の課題解決に貢献します

成長を続ける市場である海外市場での事業拡大を推進、IoT設備管理システムや環境対応製品の開発などにより、他社との差別化を図ることで収益力を高め、持続的成長の基盤づくりに取り組む！

注力point

- 装置と薬剤の一体販売による付加価値向上 (ジルコニウム化成、自動管理システム)
- IoT設備管理システムや環境対応製品の開発と販売 (PARKER LEAPS、DRYCUBEなど)
- 付加価値の高い製品などの拡販 (アイオニクス粉体塗装機器)
- 設備メンテナンス事業の強化
- 海外成長市場における事業拡大